

22 青山緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 青山神社周辺一帯（常北町）
- (2) 指 定 昭和58年3月31日（茨城県告示第589号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、スギ、ヒノキの大径木に、ケヤキ、エノキ等の落葉樹、シラカシ、ヤブツバキ等の常緑樹が混生する森林である。

うっそうとした樹冠と豊富な植物相の下に、関東地方以西に分布域を持つ小型の蝶、ムラサキシジミ、ウラギンシジミが生息している等昆虫類の種類も多く生息している。

また、人家近くに見られる野鳥、渡り鳥も多数確認される等、これらの良好な自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

スギ、ヒノキの優先する森林に、ケヤキ、ミズキ、エノキ、シラカシ、ヤブツバキの大径木が混生している。

林内には、ヒサカキ、ヤブツバキ、ガマズミ、ムラサキシキブ、ゴンズイ、サンショウ等が見られ、その下にキバナアキギリ、チゴユリ、ヤマユリ、ホウチャクソウ、フタリシズカ、ミズヒキ、オオバギボウシ、ヤマタツナミソウ、フジカンゾウ等が豊富に生育している。

また、アカシデ、コナラ、クヌギの落葉広葉樹林がある。

林内には、アオハダ、エゴノキ、ヤマツツジ、ムラサキシキブ、ガマズミ、コアジサイ、その下にヒヨドリバナ、オオバギボウシ、シラヤマギク、コウヤボウキ、ヤマユリ、アキノキリンソウ、ワレモコウ、オミナエシ、オトコエシ、リンドウ、キキョウ等が見られる。

イ 野生動物

常緑樹を好むアオスジアゲハ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミのほか、広葉樹林内にはミヤマセセリ、クロアゲハ、カラスアゲハ、ウラナミアカシジミ、アカタテハ、ゴマダラチョウ、クロヒカゲ、周辺にはダイミョウセセリ、ナミアゲハ、ジャコウアゲハ、スズグロシロチョウ、コツバメ、イチモンジチョウ、コムスジ等各種の蝶が豊富に生息している。

特に、ムラサキシジミ、ウラギンシジミは関東地方以西に分布域を持ち、通常個体数が少ない種である。

また、近くに池沼があるところから、アジイトトンボ、オツネトンボ等の小型トンボ類、ヤマサナエ等の中型トンボ類、オニヤンマ、ギンヤンマ等の大型トンボ類のように各種のトンボのほか、他の昆虫類も数多く見られる。

さらに、キジバト、アカゲラ、ヒヨドリ、モズ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ムクドリが良く見られるほか、夏鳥のカッコウ、キビタキ、ホトトギス、冬鳥のジョウビタキ、ツグミ、カシラダカ等も多数確認されている。

(3) 区 域

ア 区域の概要

本地域は、常北町石塚から南西へ約2キロメートル、森林育成保護の祭神として親しまれている青山神社を中心とする森林地域で、上青山集落内にある。

イ 位置及び区域

東茨城郡常北町大字上青山の一部

別図のとおり

ウ 面積 6.59ヘクタール

エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	6.59	6.59

(面積は、台帳面積による。)

(4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、青山神社を中心として、スギ、ヒノキの大径木、ケヤキ、エノキの落葉樹、シラカシ、ヤブツバキの常緑樹が混生する森林に、植物相も豊富に生育している。

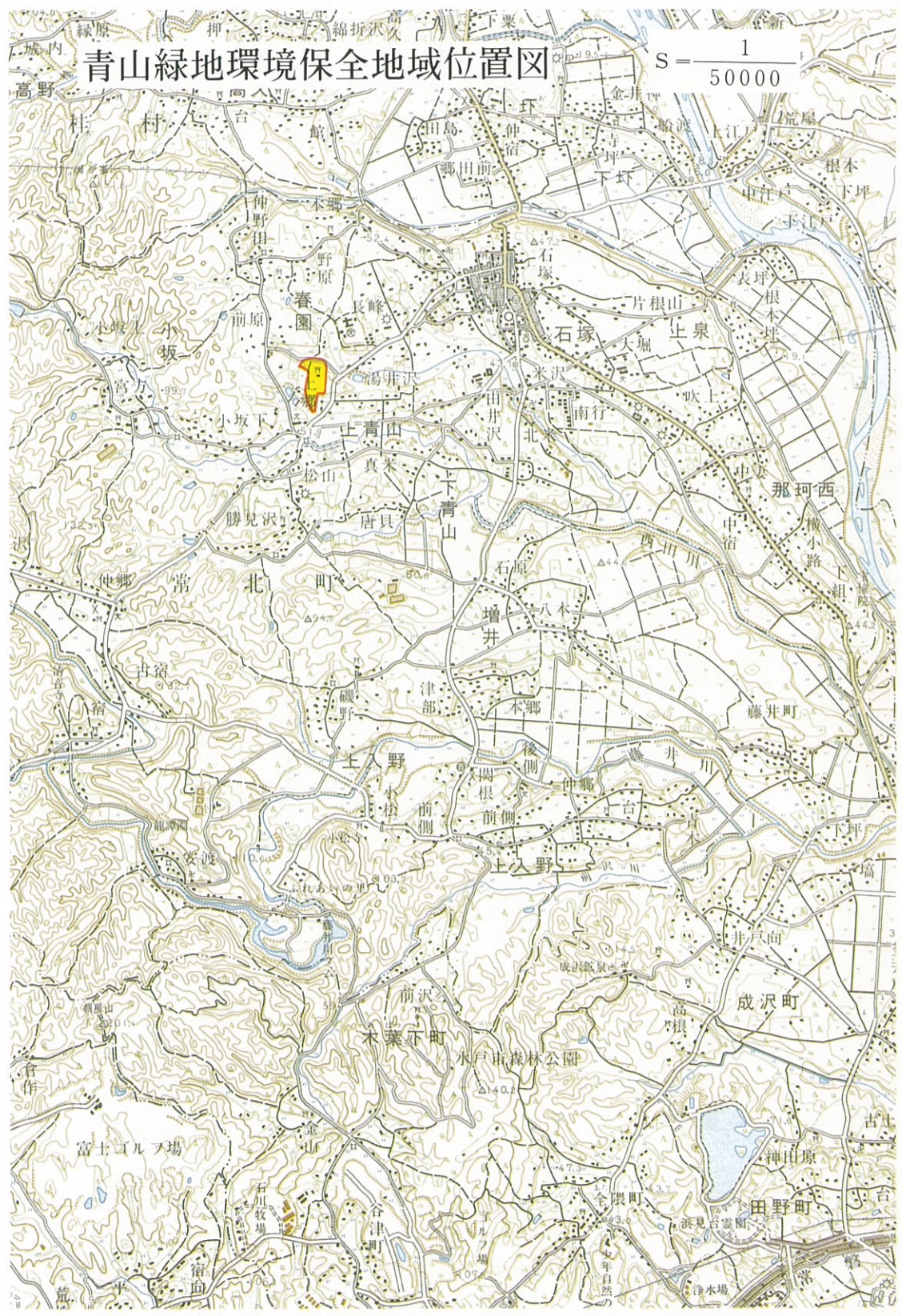
また、チョウ、トンボ等昆虫類は種類多く見られ、特に、関東地方以西に分布するムラサキシジミ、ウラギンシジミが生息するほか、野鳥も数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

(5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

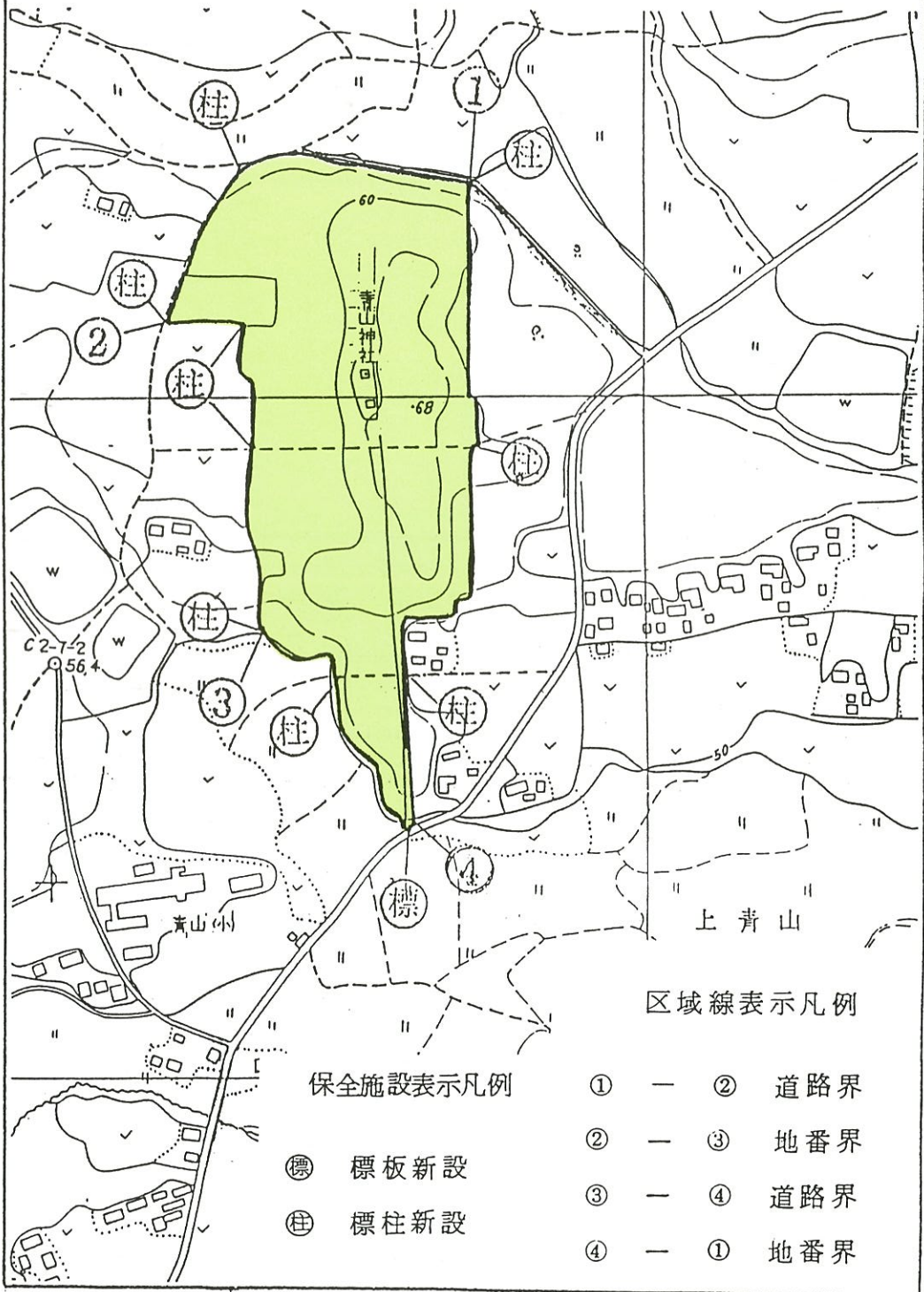
青山緑地環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



青山緑地環境保全地域区域図

S = $\frac{1}{5000}$



区域線表示凡例

保全施設表示凡例

- 標板新設
- ⊕ 標柱新設

- ① — ② 道路界
- ② — ③ 地番界
- ③ — ④ 道路界
- ④ — ① 地番界